

KAMEOKA MACHI NAVI (市民活動団体 支援)

亀岡まちづくり
市民活動団体

まちナビ

KAMEOKA



あなたの力を
地域のために
活かして
みませんか？



平成22年度から平成24年度に亀岡市支えあいまちづくり協働
支援金を受けて事業を実施した団体を中心に掲載をしています。

まちづくり かめおかまちの元気づくりプロジェクト

明るく 楽しく 徹底的に！サロン事業は最先端事業？！



これからの目標(ビジョン)

「継続は力なり！」
持続可能な、
市民活動の
仕組みづくりに
挑戦したい！

人と人のふれあいが少ない今、様々な「サロン」のような場を創っていくことによって、地域住民の元気づくりをお手伝い。毎月28日駅前南郷公園で開催している手づくり市(ふれあい二八市)をはじめ、玄人はだしの素人寄席(保津川寄席)、京のおばんざいサロン、ふれあい文化茶論、まちの元気づくり大学、まち歩きイベント等々、年間30を超える、楽しき満載の事業を企画運営しています。さあ、是非お好きな「サロン」にどうぞ！



●連絡先:かめおかまちの元気づくりプロジェクト(担当:松尾)
〒621-0805 亀岡市安町中島138番地 ☎ 090-3848-8676
http://kame-genki.org/ genki@kame-genki.org



まちづくり 篠町 町づくり推進会

人と人のふれあいでつくる・にぎわいのある町ー篠町



これからの目標(ビジョン)

住民参加による
「にぎわいのある
まち篠町」の
町づくり推進

篠町町づくり推進会は、篠町自治会の傘下で、自治会の活動趣旨に則り、ボランティア精神に基づいて「人と人のふれあいでつくる・にぎわいのある町ー篠町」の形成と発展に寄与する町づくり活動を推進することを目的としています。具体的には、自治会との共催事業である「鯉のぼり、七夕、竹灯籠・光の祭典」等をはじめ、各部会毎にめがね橋の清掃、名所案内板・道標の設置維持活動や、ふれあい農園の野菜販売等を定期開催。今では里山「市民の森 長尾山」の整備活動が他町にも拡がりを見せています。



●連絡先:篠町 町づくり推進会(担当:篠田)
〒621-0826 亀岡市篠町篠中北裏68番地(篠町自治会内) ☎ 0771-22-0047
http://篠町自治会.net/ shinocho@maia.sonet.ne.jp



まちづくり NPO法人青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部

ハーブとサブレづくりで、「元気で100歳めざそう！」



これからの目標(ビジョン)

地域のひとが気軽に
立ち寄れる、ハーブ農園を
めざしていきま
す
スタジオができた
明智かめまるサブレを
亀岡名産として
売っていきま
す！

平成10年9月23日設立。サブレづくりやハーブ栽培を通して、中高年齢者を対象に生きがい・健康・仲間づくりを目的に活動しています。平成22年には、亀岡市のゆるキャラ「明智かめまる」のサブレを製造・販売開始。観光PRにも一役買っています！地域の元気づくりのために、ふれあいサロンや農園環境を活かして集える場の提供を続けていきたいと思っています。



●連絡先:NPO法人青空ふれあい農園・ハーブ倶楽部(担当:久保)
〒621-0021 亀岡市曾我部町重利矢折17番地 ☎ 0771-24-3877
http://www.k-herbclub.com k-herbclub@mtb.biglobe.ne.jp



まちづくり 保津町自治会「町づくりビジョン推進会議」

大家族宣言の町をテーマにして、子供の声が町中に響き渡るような町をつくる



これからの目標(ビジョン)

我が保津町は、
山から里へ、そうして
田んぼから川辺へと
自然に満ちている
そこに自然と共生する
農業公園をつくりあげる

平成19年京都府の地域力再生プロジェクトの支援を受けて、昔、保津町内に10基あったと言われている備く水車を復活させ、その水車を町のシンボルとし、水車の周辺に自然と共生する農業公園を作るために取り組んできた。この農業公園では、農村と都市をつなぐ取組みとして体験農園を開設し、農家の指導を受けながら春、夏、秋、冬の四季の野菜を作りながら交流の輪を広げている。また、農園周辺の保津川左岸の堤防に桜60本・紅葉60本を植樹し「保津川花回廊」と名付けて整備を進めている。平成25年の春には花回廊700mの遊歩道が舗装されて、今日では朝に、夕にこの遊歩道を散歩する人が増え、遠く亀岡市内からも散策する人が増えている。現在では、河川改修でできた約6haの河川敷にジャコ田を作るための用水路の整備を進めているところである。



●連絡先:保津町自治会「町づくりビジョン推進会議」(担当:塚田)
〒621-0005 亀岡市保津町構ノ内 53 ☎ 0771-22-0810
http://homepage3.nifty.com/hozutyujitakai/



まちづくり かめおか遊友ネットワーク

“教えられたり、教えたり” お互いが日々研さんし、知識、最先方から受け継いできたものなど、「お互いの座」を交換し合う学習(楽習)会です



これからの目標(ビジョン)

亀岡市内の人・組織
と連携し亀岡市の
まちづくりに
貢献できる活動に
発展させたい

本会の目的は子どもから高齢者まで、健康な人も障害のある人も、いつでも、どこでも、だれとでも、仲良くなれる。多くの市民が「楽しみ、喜び」を共感し、より多くの人々との交流によって、誰もが安心して、イキイキと暮らせる地域づくりを目指すことです。『レク楽園』『手づくりワークショップ』などの講習会では、ゲーム、ソング、ダンスとコミュニケーション、仲間づくりなどを学びます。



●連絡先:かめおか遊友ネットワーク(担当:吉中)
〒621-8555 亀岡市曾我部町南条大谷1-1 京都学園大学体育館内 吉中研究室
☎ 0771-29-2354 yosinaka@kyotogakuen.ac.jp
http://kameokayuyonet.jimdo.com/



まちづくり 亀岡発平成“ヨメ”学

優しさは心のエネルギー 小さな社会(家庭)の男女共同参画を目指し、平成19年の発足以来の私たちの会費です



これからの目標(ビジョン)

「こゆめプラン」
25年度計画の遂行
地域への貢献と
都市農村交流の定着
と実績の積み上げ

平成8年6月スタート以来様々な活動を展開
(人権・男の料理教室・高知県須崎市との交流等々)
若い世代では家事育児での役割分担が出来ているのを確認、活動を地域の活性化と遊休地を放棄田にしない活動に移行し
平成19年「こゆめプラン」を開始し現在に至る。



●連絡先:亀岡発平成“ヨメ”学(担当:中島)
〒621-0121 亀岡市西別院町大槻並向イ谷3
☎ 事務局 0771-27-2679
こゆめサロン 0771-27-2729



まちづくり 小さな町から小さな町へ
支え合うネットワーク「チーム亀岡」

東日本大震災の被災地に、亀岡から笑顔をお届けしています



これからの目標(ビジョン)

これから
亀岡から
「あたたかい
気持ち」を
東北へ
お届けします

2011年の東日本大震災で被災されたみなさまに、「小さな町から小さな町へ」と、大規模な支援だけでは行き届かない細やかな支援活動を続けてきました。今では、一人暮らしのお年寄りやひとり親家庭へ、遠くの親戚に少し仕送りをするような気持ちで、亀岡のみなさんからお預かりした物資をお届けしています。偶数月の11日前後の日曜日に、物資募集を行っていますので、みなさんのご支援をお待ちしています。



●連絡先: 小さな町から小さな町へ
支え合うネットワーク「チーム亀岡」(担当: 原田)
〒621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋37-21 ☎0771-20-1556
http://team-kameoka.net/ info@team-kameoka.net



国際交流 Office Com Junto (オフィス コン ジュント)

多様な文化を知ろう



これからの目標(ビジョン)

日本に住む
世界各国に
ルーツを持つ
ひとたち
との共生

2012年4月発足以来、亀岡市の姉妹都市のひとつ、アメリカのStillwater市と子どもたちのアート交換プログラムなどを開催。多様な文化の存在を、これからをにう子どもたちの目でたしかめるプログラムを作っていく。

●連絡先: Office Com Junto(オフィス コン ジュント)(担当: 児島)
〒621-0815 亀岡市古市町1丁目2-41 ☎0771-23-6579
kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp



国際交流 ゲストハウス藤原邸

亀岡の西端の小さな村。その古民家から国際交流を発信していく



これからの目標(ビジョン)

国際交流と共に
高齢者が元気が
出る活動へと
取り組みを
広げていきたい

およそ10年程前から、毎年、オクラホマ州立大学の学生のホームステイをきっかけに、ロコミや再来日の多くの外国人が利用している。ゲストハウス藤原邸のある集落は23戸、若者が少なく高齢者が多い集落である。このような機会を利用し、少しでも村に活力ができれば、様々なイベントを計画し、国際交流に取り組んでいる。世界の人々と共に料理を作り、食事をすることが、仲良くなる一番の方法ということで。今では年間4・5回の料理交流会を持っている。



●連絡先: ゲストハウス藤原邸 (担当: 藤原)
〒621-0001 亀岡市旭町宮ノ元2番地1 ☎0771-25-3067
http://kkskc.org/DAN/225.html yfujii1229@gaia.eonet.ne.jp



国際交流 多文化共生推進団体 京・くろかる隊

人種・国籍や文化世代などあらゆる違いを認め合い、尊重しながら共に住みやすいコミュニティづくり



これからの目標(ビジョン)

地元根づく
世界へと発信して
いけるように
グローバルな
活動を展開して
いきます

私たちは、地元・亀岡が、さらに魅力で溢れる住みやすいまちになるよう、以下の活動を行います。
①観光・交流まちづくり: 観光客誘致活動【観光案内の看板設置・亀岡を英語などの多言語で紹介している「くろかるとりびゅう」発行】②ひとづくり: 語学力のある「グローバル」(グローバルでローカル)な人材育成【日本語教室・英会話サロンPowWow】③和づくり: 地域の人々と各種団体と連携をとり、地元を愛し、大切に活動の展開【在住外国人・留学生と一緒に交流活動】④多文化共生推進活動【市役所HPやさしい日本語版作成・防災学習など】



●連絡先: 京・くろかる隊 (担当: 豊田)
〒621-0854 亀岡市下矢田町東法楽寺54-66 ☎0771-25-2329
kyocrocucul@gmail.com



子育て青少年 特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク

亀岡が子育てしやすいまちになるよう当事者の視点で活動しています



これからの目標(ビジョン)

子どもを生み
育てやすく
子どもが
暮らしやすく
心豊かに
暮らせるまちに

1998年設立、翌年活動開始。幼稚園や保育所へ通う前の在宅で子育てをしている家庭の支援が中心。携帯メール子育て情報配信『あったかめ〜』、子育て情報誌発行、親子の居場所運営、保育付き講座やイベントの開催、親子ふれあい教室開催、一時保育や出張保育、女性のチャレンジ支援など。

その他、他団体とのコラボでまちづくりイベントの開催も行っている。



●連絡先: 特定非営利活動法人亀岡子育てネットワーク(担当: 田中)
〒621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋37-21 ☎0771-20-1556
http://k-kosodate.net/ info@k-kosodate.net



子育て青少年 共同自主保育 森のようちえん そとっこ

自然体験を中心に遊びもケンカもおもいっきり 豊かな人間形成の土台を育む



これからの目標(ビジョン)

自然の中で
地元のひととの
関わりを大切に
子どもが
育つてゆく

のうセラピーの実施を通して、安全で美味しい食についてや、自分の心を知り、子どもの力を信じるという、子育てがシンプルで楽しくなる素敵な学びをいただきました。そとっこでは、隅田農園をベースに山や川、田畑等、豊かな自然の中で子ども達が毎日思い切り遊び、暮らしを楽しんでいます。自然と共に心豊かに生きる暮らしと育ちを共有できる場をつくっています。



●連絡先: 共同自主保育森のようちえん そとっこ(担当: 小倉)
〒621-0826 亀岡市篠町篠上北裏33(有)隅田農園内
http://mori-noen-kurasi.org/blog/ sotocco@gmail.com



介護
福祉

介護相談 リンクす

お医者さんは選ぶのに、なんで介護サービスは選ばないの？



これからの目標(ビジョン)

高齢者の
生活全般において
役立つ情報を
集めて発信
していきたい

亀岡市の現・元介護相談員の有志が作ったグループです。
自治会や老人会、民生委員の方などの協力を得ながら、各地域で
「お医者さんは選ぶのに、なんで介護サービスは選ばないの？」をキーワードに、
介護について学びながら座談会形式で気軽に話しあう活動をしています。
座談会では亀岡市内の介護サービスを紹介したオリジナルの冊子も
配布しています。

●連絡先: 介護相談 リンクす (担当: 戸田)
〒621-0843 亀岡市西つつじヶ丘大山台2-11-2 ☎0771-22-1343
http://kaigo-soudan.net/ info@kaigo-soudan.net



介護
福祉

要約筆記サークル「こだま」

ことばのバリアフリー 字幕でコミュニケーションのお手伝い



これからの目標(ビジョン)

要約筆記が
より多くの
難聴者の情報
保障に活用
されること

日常生活は音声の情報にあふれている。聞こえに障害のある人のために、その声を
文字にして情報を伝えている。具体的には、講演や会議で、会場に字幕スクリーンを
あげ、また個人の場合は横で書いて話の内容を伝える。
話し言葉を書いて伝えるには、パソコンでは、高速入力が要求される。
簡単ではないが、仲間と支えあいながら、難聴者とともに歩むことを
志し活動している。



●連絡先: 要約筆記サークル「こだま」(担当: 山本)
〒621-0847 亀岡市つつじヶ丘桜台1-20-17 ☎0771-25-3815



介護
福祉

ほっこりサロンつつじヶ丘

地域の高齢者は地域で見守ります



これからの目標(ビジョン)

一人でも多くの
高齢者が
閉じこもりの
ない様 地域を回り
参加者を増やし
楽しい事業を
行いたい

地域の高齢者は地域で見守りたいをモットーに
地域の高齢者の生活向上、介護予防を行っています。

- デイサービス(食事会、レクリエーションを行う)
- いきいき男の料理教室を行う
- 家庭訪問をし安否確認を行う

●連絡先: ほっこりサロンつつじヶ丘 (担当: 西村/上出)
〒621-0833 亀岡市東つつじヶ丘曙台1-8-5
☎0771-22-3078(上出) ☎0771-22-4335(西村)→



介護
福祉

共生ケアかめっこの会

おしゃべりしたい人、世代いろいろみんな集まれ!



これからの目標(ビジョン)

みんなで
支え合いながら
安心して
生活できる
地域を目指す

- つどい場『寄って亭』(毎週金曜日10:00~15:00)
おしゃべりしたい人、一緒にご飯食べたい人、世代いろいろ寄って亭!をキャッチフレーズに毎週金曜日
集い場を開催。赤やんからお年寄りまで障害があってもなくても、過ごし方は自由。
- 『新しい介護セミナーin亀岡』(年1回実施)専門講師による介護に関する講演会、介護実技指導など
- 『らくちん介護勉強会〜一緒にらくちん介護をしませんか?〜』(年4回)
介護する人される人が、地域でらくちんに暮らせるよう参加者と一緒に考え、
介護実技を勉強する。対象は、どなたでも。



●連絡先: 共生ケアかめっこの会 (担当: 森田)
〒621-0806 京都府亀岡市余部町蚊又89
☎090-3727-4166
atarashiikaigo@gmail.com



自然
環境

愛あーすKameoka

地球市民の大きな視点で身近な環境問題に取り組む循環型社会を目指します



これからの目標(ビジョン)

回収した油を
リサイクルして
出来た
燃料の使い道を
目に見える
ようにしたい

平成元年より、アルミ缶・牛乳パックの回収をして亀岡作業所へ寄付。
小切手、テレカ等回収して社協に寄付。盲導犬センターの清掃活動。書き損じハガキ
の回収をしてタイの中学生の奨学金として送金。使用済インクカートリッジの回収も
して一緒に奨学金に上乗せして、多くの子どもさん支援をしたいと頑張っています。
市の支援金で使用済み天ぷら油の回収をして市のゴミ減らしに協力
しています。

●連絡先: 愛あーすKameoka (担当: 浅葉)
〒621-0867 亀岡市南つつじヶ丘桜台2丁目11-15 ☎0771-22-6046



自然
環境

特定非営利活動法人 プロジェクト保津川

美しい保津川を次の世代に守り、伝えるために頑張っています



これからの目標(ビジョン)

保津川の文化や
歴史、環境の
素晴らしさを
世界に発信して
いきます

保津川は亀岡に住む私たちにとって文字通り「ふるさとの川」です。保津川下りや
トロコ列車など世界中から多くの人々が訪れる景勝地であるだけでなく、保津川は
アユモドキなど希少な生き物の宝庫でもあります。しかし、最近ではゴミの急増など、
環境問題も深刻化しています。毎月第3日曜日の定例清掃会をはじめ、
保津川復活プロジェクトなど、保津川の環境と文化を次の世代に
引き継ぐためのさまざまな活動に取り組んでいます。



●連絡先: 特定非営利活動法人 プロジェクト保津川 (担当: 原田)
〒621-0804 京都府亀岡市追分町谷筋37-21 ☎0771-20-2569
http://hozugawa.org/ info@hozugawa.org



協働のまちづくりに向けて



亀岡市市民協働課

少子高齢化の本格的な到来や人々のつながりの希薄化、様々な分野でのグローバル化の拡大など、私たちを取り巻く環境や地域が抱える課題は複雑化、多様化しています。

みんなが暮らしやすいまちにしていくためには、地域の様々な主体がお互いのできることで強みを活かしながらよりよいまちづくりに協力して取り組む「協働」が必要です。

亀岡市は、地域課題の解決に向けて協働によるまちづくりに取り組む市民活動団体の活動を支援します。

資金 支援

亀岡市支えあいまちづくり協働支援金

地域課題の解決に向けて市民活動団体が自主的に取り組む事業を支援しています。



メニュー	市民活動型単独事業		企画提案型協働事業	
内 容	スタート 立ち上げ期の団体の活動を支援	ステップアップ 左記以外の活動を支援	市民連携 2団体以上の連携事業を支援	行政連携 行政提示テーマに対応する事業
支援金額(上限)	10万円	20万円	100万円	100万円

※制度は変更する場合があります。制度の詳細や募集時期については市民協働課にお問い合わせください。

亀岡市市民協働課

亀岡市役所5階 電話:0771-25-5002 FAX:0771-22-6372 メール syougai-gakusyu@city.kameoka.kyoto.jp

資金 支援

生涯学習事業助成金

市民の皆さんが自発的に行う
生涯学習活動を支援しています。



対象事業	文化・芸術や学習活動成果の発表、刊行物の発行、講師・団体などを自発的に招いて開催する事業など
助成金額(上限)	10万円(対象経費の2分の1が上限)

※制度は変更する場合があります。制度の詳細や募集時期については、生涯学習かめおか財団にお問い合わせください。

(公財)生涯学習かめおか財団

ガレリアかめおか内 電話:0771-29-2700 FAX:0771-25-5881 メール kikaku@galleria.city.kameoka.kyoto.jp

活動 支援

かめおか市民活動推進センター

市民活動に役立つ講座の開催や情報提供、会議スペースの提供などを行っています。

御利用については、

かめおか市民活動推進センターまでお問い合わせください。



かめおか市民活動推進センター

ガレリアかめおか3階 電話:0771-29-2703 FAX:0771-29-2703 メール office@ksksc.org



【編集後記】

“おとなの倶楽部活動”de 地域を盛り上げよう！

全くの私事ですが、地域活動や市民活動に全く無縁だった、平凡なサラリーマンが、「ある事」がキッカケで、目覚めてしまいました！何を思ったか、2010年1月15日をもって、55歳という若さ(?)で会社をキッパリ辞め、無謀にも「地域への恩返し」を決意！

それまでの私にとって、地元亀岡は朝会社に行って夜帰ってきて「寝ているだけのまち」に過ぎず、すごい地域資源をもったまちであることなど知る由もありませんでした。

ひょんなことから、他のまちの賑わいづくりに仕事として関わったことから、恥ずかしながら、生まれて初めて「自分のまち」を意識するようになりました。また同時に、人のふれあいが少なくなったことによる社会的な問題も考えるようにもなりました。もともと会社生活では人事畑が長かったせいか、常々人が生き生きと働く(生きる)にはどうしたらいいかを考えるクセがついていたのでしょうか。

その答えの一つとして、まずは、みんなが出あいふれあう機会づくりを考え、個人が「元気に」「主体的に」活躍できる場づくりのお手伝いをしようと、同志と共に「かめおかまちの元気づくりプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトは、“おとなの倶楽部活動”よろしく緩やかな組織ながら、やるからには「継続してちゃんとやろうよ！」という心意気でやっています。メンバーがお父さんが多いことから、「お父さんも、ちゃんと地域と向き合おうよ！」というメッセージが「隠し味」です。語弊を覚悟で言わせていただければ、“男という生き物”は、哀しいかな、「仕事」があるあいだは、まだ「元気」なんです。でも、定年後の「居場所」「生きがい」を考えたとき、仕事を理由に地域での“お友達づくり”を怠けていたせいで、毎日やる事がなくなった瞬間から慌てます。永年培った社会的な経験や知識を地域に還元するためにも、是非一日も早く“地域”に目を向けてください。そんな思いを込めて、このパンフレットを創りました。何もお父さんだけの話ではありません。まちを“面白く”するには、まずは市民が自分のまちのことに興味をもち、好きになってください。色々な取り組みでまちを良くしようとする、多くの市民団体があることも是非知ってください。今回の取材を通じて、あらためて活動団体の「心意気」に感動いたしました。このパンフレットが、皆様の、“地域を愛する”活動の一助になれば、この上ない喜びです。



かめおかまちの元気づくりプロジェクト 代表 松尾清嗣

「この冊子は、亀岡市支えあいまちづくり協働支援金・行政協働型事業として
かめおかまちの元気づくりプロジェクトと亀岡市市民協働課が協働で作成しました。」

発行



みんなの、みんなによる、みんなのための元気づくりをお手伝い

かめおか まちの **元気** づくり プロジェクト

【事務局】〒621-0805 京都府亀岡市安町中島138番地

TEL:090-3848-8676 FAX:0771-55-9488

E-mail: genki@kame-genki.org

かめおか 元気

検索